

令和6年度 立川市立立川第七中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ◎深く考え、すすんで学ぶ ○温かく思いやり、正しく行う ○たくましく鍛え、みずから創る
---------	---

生徒に育成を目指す資質・能力	教科や学年全体に共通する取組
<ul style="list-style-type: none"> ・「基本的な生活習慣」を身に付け、集団の一員としての規律・規範意識を身に付ける。 ・「自ら考え進んで学ぶ」意欲と、生きる力の基盤となる「確かな学力」を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の達成感や成就感を大切に、指導方法の工夫と授業改善を図る。 ・学習指導要領の趣旨をふまえた、授業改善のPDCAサイクルを推進する。 ・「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るために指導方法の工夫と授業改善を図る。 ・タブレット PC を計画的・効果的に活用し、生徒が主体的に学ぶ態度を育成する。

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など）
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○社会生活を送る上で必要となる、言語についての正しい知識と適切に使える技能。 ○文章や他者の話の内容や意図を汲み取ろうとする主体的な態度。 ○様々な文章・他者の話の内容や意図を自らの考えと比較しながら読み取る思考力や判断力。 ○状況や場に応じた言葉で、工夫しながら書いたり話したりできる表現力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為、心情表現、抽象的な概念を理解したり表現したりするために必要な語彙を確認する場面を設定し、辞書を活用し、語彙量を増やす。 ・課題に対して粘り強く自分で考える場を繰り返し設定する。 ・ICT 機器を活用しながら他者の考えと比較する交流の場を設定し、自分の考えを深めたり、表現する活動を行う。 ・様々な言語活動を設定し、深い学びを展開する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○よりよい社会の形成に向けて、課題を追究する活動を通して、社会的事象に着目して、多面的・多角的に考察し表現し、社会的な見方・考え方（視点や方法）を理解することで、社会の形成者として必要な公民としての資質・能力。 ○基礎的な知識の理解と諸資料を調べまとめる技能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器を活用して図や資料を全体で共有し、一人一人が図や資料から読み取ることができる社会的な問題や出来事の因果関係について、考える時間を設定する。 ・図や資料について考えた自己の意見を表現することができる場を設定する。 ・生徒同士で学び合う時間を確保することで、生徒間で説明・理解し合い、一人一人に合わせた学びを実現する。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的基本的な計算能力。 ○問題解決などにおいて、粘り強く考え、その過程を振り返り、考察を深めたり、評価改善したりする態度。 ○数学的に推論し、筋道を立てて考える力。 ○数学的な表現を用いて自分の考えを書いたり、他者に伝えたりする力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しと振り返りを重視し、生徒が自ら考える時間を設ける。 ・生徒同士の教え合いの時間をつくり、解答の導き方を他者に伝える機会を設ける。 ・答えを導き出す過程を確認して、形成的評価を行う。 ・日頃から複数の事項を用いる課題に苦手意識をもつ生徒への指導法を教員間で共有し合い、研究する。 ・習熟の程度に応じた先行オーガナイザーの提示とスモールステップの設定を工夫する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○自然の事物・現象について理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能。 ○観察実験などを行い、科学的に探究する力。 ○自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮説から実験方法などを立案し、自らの力で問題解決できる学習活動を行う。また、ポートフォリオなどを作成し、振り返りを重視する。 ・実験や話し合いなどの学習活動に、タブレット PC 等の ICT 機器を積極的に有効活用する。 ・話し合い活動を取り入れ、様々な考え方に触れ、新しい視点で物事を捉えられるようにする。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽の構造や多様性について理解し、音楽表現をするための技能。 ○音楽のよさや美しさを味わって聴く力。 ○音楽活動を通して音楽を愛好する心情、音楽を親しんでいく態度及び豊かな情操。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発声方法や楽器の奏法など、一人一人に寄り添った指導を行うことで成功体験を増やしたり、自分に合ったパートを選ばせ取り組ませたりすることにより自己肯定感を高める授業を行う。 ・音楽の構造や時代背景などについて、調べ学習をし、鑑賞の効果を深める。 ・グループ活動を取り入れ、歌唱（合唱）や器楽合奏の表現能力を高めさせる。

美術	<p>○作品の意図に合わせた表現を深めるための基礎技能。</p> <p>○作品制作や鑑賞活動を通じて美的感覚を高めようとし、様々な作品の美しさや美術を愛好する豊かな情操。</p> <p>○自らの主題を生み出し構成する能力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の作品への思いを大切にしながら、実演を交えた技能指導を机間指導で重点的に行う。 ・作品制作では生徒が自身の作品と最後まで向き合いながら美的感覚を高められるよう、丁寧な指導を行う。鑑賞活動ではグループワークや発表の機会を図り、他者の異なった美的感覚を味わうことで豊かな情操を膨らませていく。 ・鑑賞活動で様々な作品に触れ、発想の柔軟さを学ぶとともに作品の構成力を高める。
保健体育	<p>○基本的な技能を身に付けるとともに、健康・安全についての理解を深める力。</p> <p>○運動や健康についての課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力。</p> <p>○明るく豊かな生活を営む態度。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動や健康について安全性や運動効率などを最適化するために、課題を設定、問題解決的な学習を行う。 ・グループ活動や学び合い活動を計画的に設定し、運動の特性について理解し、反復練習等を行えるようにする。 ・運動の本質的な楽しさを実感できる活動を多く取り入れ、学習意欲を高める工夫を行う。
技術家庭	<p>○生活と技術（技術分野）生活の自立（家庭分野）についての基礎的な理解及びそれらに係る技能。</p> <p>○生活や社会（技術分野）家族・家庭や地域における生活（家庭分野の中から課題を設定し、解決策の構想・実践から評価改善し、表現する力。</p> <p>○よりよい生活や持続可能な社会の実現を目指し、生活を工夫し創造しようとする態度。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士の教え合い話し合い活動を通して、主体的に問題解決を図る機会を設ける。 ・作業手順の可視化と調べたりまとめたりする学習活動で、タブレット PC 等の ICT 機器を積極的に有効活用する。（技術分野） ・PDCA サイクルに沿って題材を構成し、生徒の生活から課題を設定する等の活動を通して、自分の生活をよりよくしようとする力を育てる。家庭での実践を見通した授業を行う。（家庭分野）
外国語	<p>○聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの技能。</p> <p>○事実や自分の考えなどを表現したり、伝え合ったりすることができる力。</p> <p>○主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元毎に反復練習や小テスト等を取り入れ、授業内で学習事項の内容を定着させる時間を確保する。 ・英語で意見や考えを述べることや、正確に英語の文章を書く活動を取り入れる。 ・生徒同士やALTとの会話活動を通して、楽しみながら学び、既習事項を定着させる。